

《研究動向》

英国立公文書館所蔵の中国新疆関係文書について

— 1930～40年代を中心に —

上野 稔弘*

British Documents of the National Archives (TNA,UK) about Sinkiang (Xinjiang, China) in the 1930's and 1940's

UENO Toshihiro

はじめに

本論は英国立公文書館（The National Archives, 以下略称 TNA）に所蔵されている中国・新疆関係の文書について、その概要を紹介するとともに中国辺疆史研究における意義について論ずるものである。筆者はここ数年機会を得てほぼ年に1回、1～2週間の日程でTNAを訪問し、中国辺疆民族問題に関連する文書の検索・閲覧・収集を進めてきた。後述するように、TNAの所蔵する文書は膨大であり、筆者の研究テーマに限っても、関連する文書の全貌を十分に把握しているとは言えない。そこで本論では新疆の1930～1940年代前後の文書を事例とし、現時点で筆者が把握している文献情報に基づき叙述する。まずはTNAの利用に関する情報を簡略にまとめ、次に新疆関連の文書について解説する。

一、 英国立公文書館の利用について

(1) 公文書館の概要と利用について

TNAのホームページの説明によると、その前身であるPublic Record Office（PRO）は1838年の公文書館法制定に伴い、イングランド、ウェールズおよび連合王国政府の政府文書を対象に、公的記録の保存と研究者への提供を目的に設立された。その後の法整備や公文書管理・公開の改善を経て、2003年にその他の機関で保管されていた資料が統合され、今日のTNAとなった。

TNAはロンドンの西郊、世界遺産にも登録されている王立植物園Kew Gardenに近い、テムズ川河畔に位置する。ロンドン地下鉄TubeのDistrict線Richmond行きで終点の一つ手前Kew Gar-

*東北大学東北アジア研究センター准教授

dens 駅で下車し、徒歩 5 分ほどで到着する。建物は左右二つの建物をエントランスホールでつないだ形になっており、閲覧室は向かって左手の建物の 1 階（日本でいう 2 階）および 2 階にある。近現代の文書は 1 階の閲覧室で扱っている。

TNA の利用に際しては、TNA のホームページに英文ではあるが利用案内が掲載されている。また三輪宗弘氏が九州大学附属図書館のホームページに掲載している公文書館利用ガイドの情報がきわめて有用であり（注 1）、詳細はそちらに譲りたい。ここでは幾つかの点について補足するにとどめる。まず閲覧証（Reader's Ticket）の発行手続きに関しては、2008 年より自署入り身分証明 1 件と住所証明 1 件をそれぞれ提示することが必要となった。これについては英国図書館（The British Library）も同様の手続きを導入しており、同図書館ホームページの海外利用者向け情報ページ（注 2）から入手できる日本語の利用ガイドの PDF で、どのような書類が有効であるかを確認できる。自署入り証明はパスポートで問題ないが、住所証明はいささか面倒である。国際運転免許証が一番確実であるが、運転免許未所有者にとっては、別の書類を用意する必要がある。この点については機関により対応が異なるようであり、日本人スタッフのいる英国図書館では日本語であっても証明書類の原本（年金手帳や保険証など）を持参した方が手続きをスムーズに進められる。他方英国人スタッフのみの TNA では、銀行で発行してもらった英文住所入り残高証明で対応してもらうことができるようである。日本でも国際化推進の立場から今後行政機関やその他公共機関による英文で住所が表記された書類が発行される可能性はあるが、いずれにせよ出発前に十分な確認と準備が必要である。

次に、TNA ではデジタルカメラによる文書の撮影を認めているが、これを積極的に利用するのであれば、カメラについてもそれなりの機材を用意するのが望ましい。撮影データを帰国後の閲覧、あるいは OCR による読み取りに利用するのであれば、拡大しても文字が鮮明に表示できる高解像度のものが必要である。また撮影の際フラッシュの使用は禁止されているため、外光や屋内照明の下でも安定した撮影ができる手ぶれ補正機能装備も必須であろう。また閲覧室のテーブルには電源コンセントが付いているので、予備の充電電池数個と充電器、あるいは AC 電源アダプタを用意しておけば、撮影途中の電池切れに悩まされずに済む。さらには付け加えるならば閲覧室窓際のテーブル席に装備されているカメラスタンドを利用する場合、背面モニターが見辛くなるため、可動式モニターを備えたカメラ機種を検討すべきであろう。無論コピーや PC による書写を優先し、備忘程度に数枚撮影するのであれば、コンパクトデジカメやスマートフォン内蔵のカメラでも十分である。またタイプライターで作成された文書は薄手の用紙に印字されているので、次頁文書の写り込み防止のために無地の紙を用意しておくとう便利である。大判の統計表や地図を撮影する場合を考え、B4 ないし A3 サイズの紙を 2 枚ほど用意した方がよい。

(2) 文書の検索について

TNA の所蔵する公文書の量は膨大であり、現地に着いてから見たい資料の検索を始めていては閲覧に十分な時間を割くことができない。出発前にあらかじめ資料の検索を行い、閲覧を考え

ている資料の分量を事前に把握しておくことで、現地での閲覧作業をより効率的に進めることができる。

TNA 所蔵文書の検索については、英国外務省 (Foreign Office, FO) 文書の日本・中国関連部分をまとめた目録が刊行されており [佐藤、1997]、きわめて有用である。特に第Ⅲ巻は英国政府と在外公館との往復書簡と関連する諸情報を収録した FO371 の目録をまとめており、第Ⅱ巻の中国関連のその他外務省文書についての目録とあわせ、後述する新疆関連の文書情報の相当部分を検索することができる。ただし、TNA の目録には後述する若干の問題があり、本書にもそれがそのまま反映されている。また TNA が所蔵する旧陸軍省 (War Office) など他の政府機関文書のデータは含まれていない。現在では TNA ホームページの Web 目録検索がかなり整備されており、この目録の需要はかつてほどではないが、それでも日本・中国関連の英国外務省文書の全体を把握し、キーワード検索では見落としがちな関連資料の存在に気づくことができるという点で、アナログ的な有用性を依然有している。

TNA の Web 目録は TNA 館内の検索システムとほぼ同等の検索機能を持ち、日本からもアクセスすることができる。トップページ上部の「Menu」と書かれた赤丸部分をクリックして出てくるサイト一覧の中から「Help with your research」の段にある「Search Discovery, our catalogue」と書かれた部分をクリックしてアクセスする。TNA の Web 目録検索は、様々な条件を設定して候補を絞り込む詳細検索機能があり、また TNA 所蔵の文書だけでなく英国図書館などの機関との横断検索もできる。とはいえキーワードによる検索が最も簡便であり、まずはここから着手することになろう。ただしここで検索できるのは目録データファイル (またはフォルダ) 単位であり、ファイル (フォルダ) 全体から見て代表性や重要性の高くない地名や人名ではヒットしない。また中国研究者にとって注意すべきは、戦前の文書において中国の人名・地名表記はウェード式という点である。例えば「新疆」を検索するのにピンイン表記の「Xinjiang」を入力しても、1950 年代以降の文書しかヒットしない、あるいはそれ以前の文書が表示されてもすべて網羅していない可能性がある。従ってここでは「Sinkiang」で検索を行う。同様に南京は「Nanking」、重慶は「Chungking」、蒋介石は「Chiang Kai-shek」、盛世才は「Sheng Shih-ts'ai」となる。ちなみに機関名は省政府「Provincial Government」のように英語で表記するが、南京政府の外務省については「Wai-chiao-pu (外交部)」と中国語の発音で表記される。また新疆の地名に関しては基本的に Kashgar (喀什) のように現地語表記が用いられるが、省都ウルムチ Urumchi は迪化 Tihwa、クルジャ Kuldja は伊犁 Ili、コムル Quml は哈密 Hami といった形で漢語名が併用されるものもある。漢語地名と現地語地名のいずれかしか知らない場合はこの点注意が必要である。

検索結果では各ファイル (フォルダ) の表題、概要、所蔵機関、収録年月日、検索番号、分類ワードが表示される。キーワード検索ではこの項目順に合致度の高いものから優先表示されるが、年月日や検索番号順に配列し直すことができる。またページごとの表示件数を 15 件、30 件、60 件に設定することもできる。ここでは検索番号順配列で表示することを勧める。というのもファイル表題は便宜的に付けられたものであるが、後述するように 1940 年以降はファイルが幾つか

のフォルダに分割され、異なる表題が付されている場合があるからである。検索で表示されている分割ファイルの冒頭ないし最後のフォルダが表示されていない場合はその前後の検索番号を検索して確認することができる。検索結果は一覧表部の「Print」をクリックして印刷することもできるが、「Export results」から HTML、Excel、CSV の各ファイル形式に変換してダウンロードすることもできる。これに別の検索結果を統合することで自分なりの検索一覧を作成可能である。

(3) TNA の文書分類について

ここで TNA の文書分類についても言及しておく。先述のように外務省関係の文書はその頭文字を取って FO で分類される。このうち FO371 は 1906 年から 1966 年にかけて他の行政機関から寄せられた信書類を収録している。また中国新疆関連では FO676 に幾つかの文書が収録されているが、中国国内の大使館および公使館からの信書類を収録している。また TNA が所蔵する他機関の公文書も有用である。例えば旧陸軍省 (War Office, WO) の文書のうち WO208 には陸軍が収集した新疆に関する情報が収められている。また植民地省 (Colonial Office, CO) や自治領省 (Dominion Office, DO) 関連の文書にも新疆関連の文書が存在する。新疆およびチベットに関しては当時英国の支配下にあったインド政府および旧インド省の文書も外務省の文書と同様に重要であるが、英国図書館が所蔵するこれらの文書については後述する。

(4) 外務省文書の受理番号について

以下では外務省文書を対象を絞って説明する。外務省文書はフォルダ (folio) に挟み込む形でまとめられている。図 1 はフォルダの表紙の基本構成を表したもので、収録文書の情報が記載されている。記載情報のうち、左上のファイル整理番号は TNA でファイルとしてまとめた際に収録順で記入されたものである。整理番号を打ち間違えたり、後からフォルダが追加されたりした場合は、前の整理番号の後に A や B といったアルファベット大文字を加える形で対応している。受理番号 (Registry Number) は外務省がフォルダ作成時に付けるもので、収録された文書に記されている番号はその下の収録書簡番号欄に記載される。この番号は文書の発信者・機関側の文書管理の需要から付けるものであり、そうした番号が記載されていない場合もある。また文書が機密性の高いものである場合は、Confidential や Cypher 等の語が付記される。発信年月日と受理年月日は、ロンドンの省庁間での即日のやり取りである場合は片方が省略される。文書が転送・引用されたものである場合は転送・引用者の発信年月日が適用される。フォルダには複数の文書が収録されることが多く、その場合一番早く発信された文書の発信年月日と最後に受理された文書の受理年月日が記載される。

ここで受理番号を詳細に見てみると、①分類区分を表す大文字アルファベット、②通し番号、③ファイル番号、④コード番号で構成される。②と③、③と④の間にはスラッシュ (/) が挿入され、前年または翌年の文書を引用する際はその後ハイフンで年号の下 2 桁を付記する。具体例は以下ようになる。

× (ファイル整理番号)	F (分類区分)	F ××××× × JAN. 19×× (受理印)	
19×× (年号)	CHINA (分類国)		
Registry Number (受理番号) FROM (発信者 [及び宛先]) No. (収録書簡番号) Dated (発信年月日) Received in Registry (受理年月日) F : China (分類区分・国)	(表題) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (概要) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
Last Paper (承前文書受理番号)	(Minutes.) (回覧者の確認サイン及びコメント)		
References (参照文書受理番号)			
(Print.)			
(How disposed of.)			
(Action Complet.)			(Index.)
Next Paper (後続文書受理番号)			

図 1 外務省文書フォルダ表紙の基本構成

F × × × / ○ ○ / 10

F は極東(Far Eastern)を指すと思われる。コード番号は国ないし地域別に振り分けられており、中国(China)のコード番号は 10 である。ファイル番号は内容に応じて区分・割り振りが行われているだけでなく、従って新疆関連のファイル番号をみても年によって異なっている。しかし各ファイルの冒頭文書の受理番号を見ると、通し番号とファイル番号が一致しており、このことか

ら中国関係の文書を年頭から順次受理する過程で、年内に関連内容の文書を多数受理することになると予想される文書、あるいは内容の重要性や特殊性から検索しやすくしておく必要があると判断される文書に当たったところで、その通し番号をファイル番号として割り当て、以降は関連文書をそのファイル番号の下に受理し分類する形になっているようである。このことは同一主題と思われる文書であっても諸々の理由で別のファイルに振り分けられる場合があることを指しており、実際に1933年の文書では新疆関係をまとめたファイル466とは別に、カシュガル領事からの報告であるKashgar News letterを活字化したもの数点でファイル325が構成されている。表題の下に書かれる概要は、収録文書の内容がごく手短かに記されるほか、先の文書との対応関係や参照文書の情報などが記される。文書はフォルダにまとめた後に外務省内の関係部局で回覧されており、「Minutes」欄には極東局や調査局の閲覧済み署名と日付が記載されるほか、関係者によるコメントが付される。Minutes欄の書き込みは手書きの場合もあればタイプライターで作成した文章の貼り付け、さらには直接タイプライターで打ち込む場合もある。Minutes欄はフォルダ表紙の裏にも記入することができ、それでも不足する場合は紙を追加することができる。フォルダに収録された文書にばかり注意が行きがちであるが、このMinutes欄に記入されたコメントは英国外務省側の情報分析ならびに関係部局の意見の相違を理解する上で収録文書にも劣らない一級の資料であるといえる。

(5) 外務省文書ファイルの保管状態

外務省文書ファイルの保管状態は1940年を境に大きく変わっている。1940年までの文書は製本の上保管されている。文書は用紙の大小にかかわらず一枚ずつ製本用の規定サイズの台紙に糊付け（冊子体の場合は糸による綴じ込み）され、糸綴じの上茶色のハードカバーによる冊子にまとめられる。文書情報は基本的に背表紙にラベル付けされ、収納ケースに入った状態でも確認できるようになっている。基本的にはファイル単位の製本であるが、分量の多いファイルは分割され、逆に分量の少ないファイルは合本される。そのため数冊に分かれる長大ファイルの冒頭が1冊目の途中ページから始まるということがままある。これに気づかずに冊子の最初の頁から写真撮影を行うと、資料収集のロスとなるので注意が必要である。製本された文書にはページ番号のスタンプが押される。文書が裏面にある場合も番号が打たれてあるので、時間が差し迫った中で急ぎ撮影する場合でもページを飛ばしてしまう危険が少ない。非常に手間をかけた製本ゆえに文書の保存状態はきわめて良好である。ただしそうした中でも例外は存在する。例えば1934年の新疆関係の文書を収録したファイル番号14の第2分冊であるFO371/18056では、何と154ページから201ページにかけて、文書が上下逆さまの状態で綴じられている。その結果、製本用の台紙がむき出しになっている一方、肝心の文書の一部が綴じ代部分に隠れてしまっている。隠れた部分は手で綴じ代部分を押し広げないと読むのは難しく、文字部分が綴じ穴よりも奥にある場合は、読むのは事実上不可能である。また綴じ代を広げようと手に力を入れて押さえていると、巡回する館内職員から文書破損につながるとして注意を受けることになる。この状態でページ番号

が付けられていることから見て、TNA 側は製本をやり直すことは考えていないようである。幸いにして私がこれまで閲覧したその他の製本済み文書で同様の問題は見られなかったが、製本が文書保管の上で理想的な形で行われているとは限らない一事例であろう。

1941 年以降の文書は製本せず、ファイルボックスに収納されている。ファイルボックスは四方折りたたみ式で厚みを調整でき、厚みのあるものは紐を結わえて開かないようにしてある。収納されてある文書は左上に穴がパンチされ、Tag と呼ばれる両端に留め具のついた紐で綴じてある。TNA では Tag の取り外しを厳しく禁じている。これは Tag を外してしまうと文書の紛失や綴じ直す際に文書の配列順に誤りが生ずる危険性を考えるならば当然の措置である。ただしそのために生ずる問題もまた無視できない。Tag は基本的に閉じた状態で閲覧できるよう一定の長さを持たせてあるが、写真撮影や複写のため見開き状態にしようとするとうと長さが足りないことが多い。また製本の場合とは異なり、Tag を通す穴は文書の左上に直接開けられている。そのため文字部分が用紙の端近くまでであると前の用紙が覆い重なり、手でしっかり押さえて開いた状態を保持しないと重なった部分の閲覧さえ難しい場合がある。その場合は文書の向きを変えたり閲覧室備え付けの重しを利用して押さえたりといった対応が必要である。また用紙に無理な力がかかって Tag 通しの穴部分が破れてしまい、そのままの状態で見込まれていることもある。また前の閲覧者が閲覧後用紙のずれを直さずファイルボックスに収納したために用紙の端が折れ曲がり、またそれが原因で用紙の端に破損や摩耗が生じていることが少なくない。1940 年以前の製本された文書が基本的に現状を保持しているのに対して、ファイルボックスに入れられた 1941 年以降の文書の傷み具合はかなりひどい。特にタイプライターで作成された文書で用紙のずれや傾きにより印字部分が用紙の端にかかっている場合は、この影響が深刻であり、最悪の場合は文章の一部が破れて失われている。また写真撮影の場合は紐状の重しを使って用紙の折れ部分を押さえるなどの対応が必要になる。このような文書ファイルに当たった場合は、これ以上の劣化が生じないよう細心の注意が必要である。

二、新疆関係文書について

(1) 20 世紀前半の新疆の概要と英国外務省文書の意味

以下では 20 世紀前半における新疆の概況に触れた上で TNA 所蔵の新疆関連の外務省文書の位置づけについて述べる。新疆は中国西北部に位置し、清代末期の省政施行以降漢人による省政運営が行われてきた。しかし新疆はウイグル人やカザフ人、モンゴル人など非漢民族が多数を占める地域であり、中国東部との結びつきが脆弱である一方、同じ非漢民族の居住する隣接地域との結びつきは強く、中央アジアを編入しモンゴルを支援するソ連が隠然たる影響力を及ぼしていた。特に蒋介石の南京国民政府樹立後間もなく起こった初代省主席楊增新の暗殺（1928 年）、省政を引き継いだ金樹仁の省政に対する非漢民族の反発と叛乱、そして内乱状態を終息させた盛世才のソ連への傾倒により、新疆に中国中央政府の影響が及ばない状態が続いた。盛世才は独ソ開戦に

よるソ連の影響力減退を受けて 1943 年に中央に恭順の意を示し、1945 年に省主席が呉忠信に交代したことで中央政府の省政掌握は進んだものの、モンゴルとの国境紛争やムスリム系非漢民族による東トルキスタン共和国勢力の伸張に政権末期まで悩まされた。

新疆における英国領事館は 1912 年にカシュガルに設置され、1930 年代前半の南疆の紛争では戦乱の渦中に置かれながらも業務を継続し、盛世才が中央への帰順を示した 1943 年には国民政府の要請により省都ウルムチ（迪化）にも領事館が置かれて業務の重点をこちらに移しつつも国民党政権末期の領事館閉鎖まで併存した。新疆の英国領事館は中華民国の首都南京（戦時中は重慶）にある駐華大使館の下部組織であるが、地理的には英領インドに近く、業務内容も「英国臣民」すなわち英領インドの商人たちの新疆における商業活動に関するものが多かった。他方で新疆やアフガニスタンを含む中央アジアは帝政ロシアと大英帝国がその影響力を競う「グレート・ゲーム」の舞台であった。ロシア革命後成立したソ連は 1930 年代にシベリア鉄道の支線としてのトルクシブ鉄道をアルマトイへ延伸するなど再び影響力を拡大しており、こうしたソ連側の動静についての情報収集も領事館の重要業務であった。

こうした英国駐カシュガル・ウルムチ領事館が発信する現地情報は、特に 20 世紀前半の新疆南部の非漢族地域の状況を理解する上で中国側資料の不足を補う格好の歴史資料である。この公文書資料を利用した研究として代表的なのが、20 世紀前半の新疆における諸勢力の角逐を描いたフォーブスの著作 [Forbes, 1986] や、1944 年に勃発した伊犁叛乱とその後の推移を追ったリンドン・ベンソンの著作 [Benson, 1990] である。また近年では許建英が英国の新疆における活動に関する著作においてこの公文書資料を大量に引用している [許, 2008]。ただし、これらの著作では TNA 所蔵の外務省文書よりも英国図書館所蔵の旧インド省文書の引用が多い。これは後述するように TNA の文書は特に 1937 年以前のものについて関連文書の所在状況をうまく把握できないことが背景にあると考えられる。

(2) 新疆関連英国外務省文書の概要

表 1 では 1928 年から 1949 年にかけての時期について、FO371 に分類される外務省文書およびその他 FO 文書ならびに他機関文書をまとめた。先に述べたように、1938 年以降のファイルには表題が付いており、TNA の Web 目録のキーワード検索では基本的にここに入っている言葉がヒットする。ただしこの表題はファイル内の文書フォルダに付けられた表題の一つを挙げたものであり、収録されているすべての文書内容を包括的に反映させているとは限らない。他方 1937 年以前の文書について見てみると、TNA の目録ではこうした表題が付されておらず、そのままでは Code10 の中国関連文書各ファイルの分類内容を知ることはできない。筆者はまず Forbes の著作等の注釈や後述の旧インド省文書に付された参照情報からこの時期の新疆関連文書の文書番号を調べ、その上で当該文書ファイルの冒頭および末尾に収録されたフォルダ表紙に書かれてある承前および後続文書の受理番号からさらに前後のファイル番号を割り出し、芋づる式にファイルを割り出した。これらのファイルに [] 書きで記した表題は、筆者が 1938 年以降の文書の例

に倣って、収録文書フォルダの表題のうちファイル収録内容の多くに該当すると思われるものを、参考までに充てたものである。

表 1 新疆関連の英国外務省及びその他機関文書一覧 (1928-1949 年)

文書分類	表題	収録年	旧分類
FO 371/13213	China. Code 10 File 166 [Soviet plans in Sinkiang]	1928	
FO 371/13226	China. Code 10 File 1442 [Trade between India and Chinese Turkestan]	1928	
FO 371/13237	China. Code 10 File 3764 [Murder of Governor of Sinkiang]	1928	
FO 371/13241	China. Code 10 File 6403 [Kashgar Annual Report]	1928	
FO 371/13932	China. Code 10 File 315 [Situation in Sinkiang]	1929	
FO 371/13952	China. Code 10 File 2579 [Robbery of the Kashgar Consular Mail]	1929	
FO 371/14720	China. Code 10 File 416 [Attitude of the Chinese authorities in Sinkiang]	1930	
FO 371/14747	China. Code 10 File 5996 [Theft of Kashgar Consular Mail in 1929]	1930	
FO 371/15507	China. Code 10 File 1576 [Situation in Sinkiang]	1931	
FO 371/15508	China. Code 10 Files 2038 [The China (Kashgar) Order in Council 1920]	1931	
FO 371/16213	China. Code 10 File 339 [Soviet-Sinkiang Trade Agreement]	1932	
FO 371/16214	China. Code 10 File 340 [Tungan rising in Sinkiang]	1932	
FO 371/17101	China. Code 10 File 191 [Sinkiang Government's regulations respecting residence and passport certificates]	1933	
FO 371/17107	China. Code 10 File 325 [Kashgar Diary]	1933	
FO 371/17113-17117	China. Code 10 File 466 [Soviet penetration into Sinkiang]	1933	
FO 371/17122	China. Code 10 Files 1083 [Trade between India and Chinese Turkestan]	1933	
FO 371/17141	China. Code 10 Files 5344 [Relations of Mir of Hunza with Chinese Turkestan]	1933	
FO 371/18055-18059	China. Code 10 File 14 [Disorders in Sinkiang]	1934	
FO 371/19255-19260	China. Code 10 File 14 [Disorders in Sinkiang]	1935	
FO 371/20219-20221	China. Code 10 File 2 [Sir E. Teichman's Mission to Sinkiang]	1936	
FO 371/20966-20967	China. Code 10 File 25 [Situation in Sinkiang]	1937	
FO 371/22070-22071	Murder of British and Swedish missionaries in Sinkiang	1938	File 22
FO 371/22114-22118	Situation in Sinkiang	1938	File 139
FO 371/22205	Export of charas to India from Sinkiang.	1938	File 3557
FO 371/23447-23451	Situation in Sinkiang	1939	File 77
FO 371/23493	Situation on Indo-Sinkiang frontier	1939	File 428
FO 371/24665-24666	Reports on situation and events in Sinkiang, Tashkurgan, Kashgar, Urumchi, Khotan, Chinese Turkestan, Yarkand	1940	File 39
FO 371/35768-35771	Kashgar Weekly Letters: Situation in Sinkiang: policy of H.M. Government	1943	File 67
FO 371/41591-41593	Kashgar Weekly Letters: affairs in Sinkiang	1944	File 47
FO 371/41637	Sino-Soviet relations. Code 10 file 435	1944	File 435
FO 371/46187-46290	Situation in Sinkiang: Kashgar Weekly Letters: Urumchi News Summaries	1945	File 62
FO 371/53664-53666	Urumchi News Summaries: situation in the Kashgar area: Gilgit Agency political diaries: report on the Ili revolt: political situation in Sinkiang	1946	File 324
FO 371/63336-63338	Situation in Sinkiang: alleged Soviet penetration	1947	File 124
FO 371/69624	Situation in Sinkiang. Conditions in Kashgar and Urumchi. Reports of invasion by Soviet troops	1948	File 623
FO 371/75800	Developments on the Sinkiang border. Sinkiang province declares itself in favour of the communist regime	1949	File 10126
FO 676/181	Attack on British Consulate-General, Kashgar	1934	
FO 676/182	Personalities, Kashgar	1934	
FO 676/183	Disorders in Sinkiang	1934	
FO 676/204	Sir E. Teichman's mission to Sinkiang	1935	
FO 676/205	Sinkiang, personalities, titles and population	1935	

文書分類	表題	収録年	旧分類
FO 676/238	Sir E. Teichman's mission to Sinkiang	1936	
FO 676/241	Teichman Mission to Chinese Turkestan	1936	
FO 676/419	Russian influence in Northern Sinkiang.	1939	
FO 676/443	Sinkiang: journey to Urumchi.	1940	
FO 678/1471	Tihwa: Consular Buildings and Property	1946	
WO 106/5600	Part I General Description: Relations with other powers : China, Sinkiang	1935 July-Dec.	
WO 208/268	Sinkiang: history of events	1938 - 1946	
WO 208/285A	Sinkiang: Russian activities	1939 Apr. - 1946 June	
WO 208/285B	Sinkiang: alleged bombing	1944 May	
WO 208/4718	Sinkiang	1943 Sept-1948 Dec	
WO 208/4734	Sinkiang	1945 Sept-1946 Nov	
WO 252/1088	China: brief survey of Sinkiang	1950 Mar.	
AIR 40/1373	China: Sinkiang Aviation School; Russian instructors	1940 June - 1941 Jan.	
DO 35/2965	Documents relating to boundary between Sinkiang and old style India	1949-1951	F 4050/1/SA
DO 133/43	International boundary between Sinkiang and India	1939 Nov 25-1950 Apr 22	CS/161
DO 142/458	Situation in Sinkiang, China	1948-1949	POL 12/66
T 161/699	COUNTRIES. Russia: Extension of Soviet influence in Asia; British Consular representation in Sinkiang area.	1926 Mar 10- 1936 Nov 20	S.29079
T 162/783	ESTABLISHMENT. Foreign Office: Kashgar Consulate (staffed by government of India); secondment of Imperial Consul to Government of India to fill the post of Consul-General	1931 Jan. 23-1945 Nov. 17	E.25505

※ WO = 旧陸軍省、AIR = 旧空軍省、DO = 旧自治領省、T = 財務省

上記の作業により 1937 年以前のファイルについてはかなりの部分を確認したが、割り出したファイル番号を検索しても該当するファイルが出てこない場合もある。また 1941 年の文書はファイル番号 38、1942 年の文書はファイル番号 435 であることが前後する年次のファイル収録文書の承前・後続文書番号から想定されるが、検索してみると前後するファイル番号の文書はあっても当該番号のファイルは見つからない。とは言えこれまでファイルの所在が充分把握されてこなかった 1937 年以前のファイル情報も含め、この時期の新疆関連文書ファイルの構成はかなり明らかになったのではないと思われる。

この時期のファイル構成や内容量を見ると、1928 年の楊増新の暗殺を契機として増大した新疆内部の社会的混乱に合わせて、英国側がこれを一つの問題群として重要視していったことがある程度把握できる。また 1935 年に北京から陸路新疆に向かった英国外交官タイクマンの旅程については自身が著した旅行記によって広く知られ、邦訳もされているが、外務省文書では 1936 年のファイル 2 (FO371/20219-20221) に彼の報告書が収録されているほか、FO676/204・238 にも報告の一部およびその他の書簡類が収録されている。

(3) 旧インド省文書との比較

英国での中国新疆関連文書検索において TNA 所蔵の外務省文書等と同等の重要性を持つのが、英国図書館 (大英図書館 The British Library) のアジア・アフリカ研究閲覧室 (Asian & African Studies Reading Room) が所蔵する旧インド省文書 (India Office Record=IOR) に収録されている、

カシュガル・ウルムチ両総領事館からインド政府 (Indian Office=I.O.) 宛に送られた電報及び書簡類である。先述のとおり英国の駐新疆領事機関は英国駐華大使館の下部組織でありつつも、地理的・業務的にインドとの結びつきが強く、また当時の通信事情もあってニューデリー宛に首都南京 (戦時中は重慶) 宛と同じ文書を送ったり、時にはニューデリーにのみ文書を送ったりしている。そうした文書はインド所轄機関としてかつて存在したインド省に保管され、IOR に収録されている。ほとんどの文書はインド省から外務省に転送され、TNA の外務省文書に収録されているが、若干の相違がある。

表 2 は L/P&S/12/2362 Coll12/24 の収録内容とそれに相当する TNA 文書を配したものである。“White Russians in Sinkiang, Feb1944-Feb1947” のタイトルがついたこのファイルに収録された文書はすべて外務省文書と同じものがある。これらはいずれもウルムチ (迪化) の総領事館を発信元としており、IOR 文書はインド経由で、TNA 文書は南京の英国駐華大使館を経由したものであり、それぞれ異なる受理番号が付されている。このうち EXT8195 の文書は印字状態が悪く判別が困難である。しかし TNA の外交文書に F17207/324/10 として収録されている同ファイルは印字状態が極めてよい。当時の文書複製はカーボン紙を挟んで複数枚の紙に同時タイピングする文字通りのカーボンコピーであり、副本は原本と比べて文字不鮮明である場合が多い。TNA と IOR で同じ文書が収録されている場合は交互比較することで、このように問題をある程度克服できる。また 1946 年の文書の中で TNA の外務省文書ではファイル番号 757 (文書分類番号 FO 371/53684) となっているものがあるが、これは TNA の目録では“Soviet activities and policy in Manchuria: situation in Manchuria: Soviet negotiations with China on Manchuria: the Manchurian issue.” という題目が付されている。すなわちウルムチ領事館の報告がソ連の対中政策という観点から新疆関連のファイルとは別のファイルに分類・収録されているのである。TNA の目録から検索を行った場合、新疆関連のキーワードではこれらの文書を探し当てるのは難しい。この点においても TNA の文書と IOR 文書の相互参照の必要性が浮かび上がってくる。また IOR も TNA 外務省文書も共にフォルダ表紙にコメント記入欄があり、両者を比較することで外務省側とインド省側の見解の相違を知ることができる。

表 2 IOR 文書と TNA 文書の比較

IOR: L/P&S/12/2362			英国駐ウルムチ総領事館			英国外務省 (TNA 文書)			英国在南京駐華大使館	
年	文書番号	受理日	表題	文書番号	発信日	分類番号	受理番号	受理日	受理番号	受理日
1944	EXT. 4847	1944/10/27	Depatch from Consul, Urumchi to His Majesty's Ambassador, Chungking: Orthodox Russian Christians in Sinkiang.	41	1944/9/10	FO 371/41637	F 4941/435/10	1944/10/25	1094 (66/10/44)	1944/10/10
1946	EXT. 2064	1946/3/20	Departmental: From Moscow to Foreign Office	2	1946/3/5	FO 371/53684	F 1860/757/10	1946/3/11	169	
	EXT. 4568		Tihwa despatch: Soviet citizenship for White Russians.	12	1946/2/15	FO 371/53686	F 5490/757/10		535 (23/224/46)	1946/3/16
	EXT. 5142	1946/7/2	Tihwa despatch	32	1946/4/16	FO 371/53687	F 8400/757/10		563 (47/224/46)	1946/5/14
	EXT. 5142	1946/7/25	Tihwa despatch	38	1946/4/16	FO 371/53688	F 10321/757/10		563 (47/224/46)	1946/5/14

IOR: L/P&S/12/2362			英国駐ウルムチ総領事館			英国外務省 (TNA 文書)			英国在南京駐華大使館	
年	文書番号	受理日	表題	文書番号	発信日	分類番号	受理番号	受理日	受理番号	受理日
1946	EXT. 7104		Tihwa despatch	66	1946/8/21	FO 371/53665	F 14642/324/10	1946/10/8	1111	1946/9/12
	EXT. 8195		Tihwa despatch: Report on present position of White Russians in Kulja.	74	1946/9/24	FO 371/53666	F 17207/324/10	1946/11/29	1429 (167/224/46)	1946/11/13
	EXT. 8547	1946/12/24	Tihwa despatch: Difficulty of White Russians and other stateless persons leaving Kulja.	85	1946/11/5	FO 371/53666	F 17935/324/10	1946/12/16	1525 (180/224/46)	1946/11/29
1947	EXT. 5542	1947/2/12	Tihwa despatch: White Russian refuges from Kulja.	101	1946/12/19	FO 371/63336	F 1335/124/10	1947/2/3	19 (209/224/46)	1947/1/3
	EXT. 5605	1947/2/18	Tihwa despatch: White Russian refuges from Kulja.	104	1946/12/20	FO 371/63336	F 1336/124/10	1947/2/3	22 (211/224/46)	1947/1/4
	EXT. 5933		Tihwa despatch	2	1947/1/6	FO 371/63336	F 3236/124/10	1947/3/11	129 (1884/1040/47)	1947/2/18
	EXT. 5933		Tihwa despatch	9	1947/1/17	FO 371/63336	F 3236/124/10	1947/3/11	129 (1884/1040/47)	1947/2/18
	EXT. 6348	1947/4/23	Tihwa despatch: Position of White Russians in North Sinkiang.	27	1947/2/18	FO 371/63337	F 5031/124/10	1947/4/14	S/O 62 (2950/1040/47)	1947/3/24

(4) 新疆関係外務省文書ファイルの内容詳細

表3は1944年のファイル番号47と1945年のファイル番号62、そして1946年のファイル番号324に収録されている文書をまとめたものである。表の分類内容は図1で示した外務省文書フォルダ表紙の情報に準拠しており、表題については原文と邦訳を並記し、その下の概要部分については「参照・添付」欄に訳出した。なお原文の誤記については〔 〕内に注記した。この時期は第二次大戦末期から戦後にかけての三年間であり、新疆においては盛世才の退陣とその直後に勃発したイリ叛乱、そして終戦をまたいでの叛乱の暫時終息という時期に当たる。これらのファイルは箱収納型であり1ファイルが数箱に分割されている。一箱に数十件の文書フォルダが入っており、1ファイルあたりの収録文書数はかなりの分量である。盛世才が新疆省主席を辞任した1944年はまだカシュガルやウルムチの領事館からの定時報告が主体であるが、1945年にイリで叛乱が勃発し戦線が省都ウルムチへ近づくとつれて特電が増加し、戦後は叛乱勢力と交渉すべく新疆に派遣された張治中將軍の動静など様々な現地情報が各方面から次々寄せられているのが分かる。またファイルの整理番号や受理番号の前後関係を見てゆくと、受理番号はあるのに文書が存在しない欠番が幾つか存在する。そのうちの幾つかは別のファイルボックスの中に紛れ込んでいるが、それ以外は全く手がかりがない。何らかの事情で別分野のファイルに収録されているか、非公開となっていることが考えられる。

表 3 英国外務省文書 中国新疆関係ファイル 内容一覧 (1944-1946)

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
FO371-41593	FAR EASTERN/ CHINA F: China						
F4199/47/10	India Office	Ext. 3943/44	1944/9/8	1944/9/12	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	7月13日付 Kashgar weekly letter No.835 の写し。	
F4218/47/10	India Office	Ext. 3944/44	1944/9/11	1944/9/13	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	7月20日付 Kashgar weekly letter No.846 の写し。	
F4269/47/10	India Office	3630/44 3574/44	1944/9/13	1944/9/15	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	Kashgar letters 6月29日付 No.813 および 6月22日付 No.496 の写し。	
F4280/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	899 (46/10/44)	1944/8/21	1944/9/16	Political arrests in Urumchi. ウルムチの政治囚	8月15日付重慶特電 No.880 (F4011/47/10) を参照。	
F4342/47/10	Sir H. Seymour, Chungking.	792 Cypher.	1944/9/18	1944/9/19	Resignation of Governor of Sinkiang. 新疆省主席の辞任	ウルムチ宛 No.26.	
F4396/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	932 (48/10/44)	1944/8/29	1944/9/23	Political arrests in Urumchi ウルムチの政治囚	8月22日付重慶電 No.899 (F4280/47/10) および 通化発 8月22日付重慶宛電 No.38 の写し参照。	
F4523/47/10	Sir H. Seymour, Chungking.	991 (54/10/44)	1944/9/12	1944/10/3	Political arrests in Urumchi ウルムチの政治囚	9月6日付重慶電 No.752 (F4131/47/10) および 9月4日付通化電 No.43 の写し参照。	
F4599/47/10	India Office	Ext.4108/44	1944/10/4	1944/10/6	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	Refers to 9月11日付インド省書簡 (F4218/47/10) および 7月27日付 Kashgar letter No.858/M/5/L-44 の写し参照。	
F4602/47/10	Consul Turrall Urumchi	u/n	1944/7/6	1944/10/6	Urumchi News Letter ウルムチ時報	重慶宛特電 No.34 の写し。6月2日付同特電 No.28 (F3271/47/10) および news summary 6月分参照。	
F4603/47/10	Consul Turrall Urumchi	u/n	1944/8/2	1944/10/6	Urumchi News Letter ウルムチ時報	重慶宛特電 No.36 の写し。7月6日付同特電 No.34 (F4602/47/10) および news summary 7月分参照。	
F4643/47/10	Sir H. Seymour.	1002 (56/10/44)	1944/9/13	1944/10/9	Situation in Tihwa. 通化の状況	9月12日付重慶特電 No.991 (F4523/47/10) および 通化の状況に関する情報を載せた 9月7日付通化電 No.45 の写し参照。	
F4646/47/10	Sir H. Seymour, Chungking.	1013 (58/10/44)	1944/9/20	1944/10/9	Situation in Tihwa. 通化の状況	Refers to 9月13日付重慶特電 No.1002 (F4643/47/10) および 9月12日付通化電 No.47 の写し参照。	
F4655/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	1033	1944/9/26	1944/10/16	The appointment of General Sheng Shih-Tsai as Minister of Agriculture and forestry. 盛世才將軍の農林部長への任命	8月30日付外務省宛重慶電 No.728 (F4033/47/10) 参照。	
F4805/47/10	India Office	Ext.4424/44	1944/10/7	1944/10/9	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	Kashgar Weekly Letter No.883/H/5/L-44 の写し。	
F4668/47/10	Major Storrs (War Office) to Mr. Scott	M.L.2(b) CN/2 Confidential	1944/10/7	1944/10/10	Roads of Sinkiang Province. 新疆省の道路	6月22日付 Kashgar letter No.496 (F4269/47/10) 参照。	
F4775/47/10							欠番
F4805/47/10	Sir H. Seymour, Chungking.	1052	1944/9/27	1944/10/18	Nomination of New Commissioner for Foreign Affairs for Sinkiang 新たな新疆外交委員の任命	9月6日付重慶電 No.752 (F4131/47/10) 参照。	
F4867/47/10	Consul Turrall (Urumchi)		1944/9/6	1944/10/21	Urumchi News Letter. ウルムチ時報	重慶宛特電 No.40 と News Summary 8月分の写し。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F4940/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	1097(70/10/44)	1944/10/10	1944/10/26	End of Sheng Shih ts'ai's rule in Sinkiang. 盛世才の新疆支配の終焉	9月5日付ウルムチ領事発特電の写し。盛世才の新疆支配終焉をほめかす事実についての論評を掲載。	
F4958/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	1102(68/10/44)	1944/10/11	1944/10/26	Indo-Sinkiang trade. インド-新疆貿易	ウルムチ領事発9月16日付重電宛電 No.43 の写し。	
F5025/47/10	India Office	Ext.4704/44	1944/10/24	1944/10/30	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	10月31日付 Kashgar Weekly Letter No.915/H/5/L-44 の写しと8月24日付『新疆日報』カシュガル版の翻訳写し。	
F5037/47/10	India Office	Ext.4430/44	1944/10/27	1944/10/30	Political arrests in Urumchi. ウルムチの政治囚	1)ウルムチ発8月19日付カシュガル電 No.35、2)8月26日付カシュガル電 No.103、3)外務省宛8月30日付重電宛 No.728、の写し。	
F5048/47/10	India Office	Ext.4703/44	1944/10/24	1944/10/31	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	8月24日付 Kashgar weekly Letter No.905/H/5/L-44 の写し。	
F5117/47/10	India Office	EXT:4641/1944	1944/10/30	1944/11/3	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	10月17日付 Kashgar Weekly Letter No.889/H/5/L-44 の写し。	
F5161/47/10	India Office	EXT:4842/44	1944/11/2	1944/11/6	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	9月7日付 Kashgar Weekly Letter No.927/H/5/L-44 の写し。	
F5314/47/10	Sir H. Seymour Chungking	1154(70/10/44)	1944/10/24	1944/11/14	Situation in Tihwa. 通化の状況	9月20日付重電 PL No.1013 (F4646/47/10) および通化の状況について情報提供する10月14日付通化領事電 No.52 の写しを参照。	
F5372/47/10	India Office	Ext 5167/47/10	1944/11/16	1944/11/20	Sinkiang regulations governing issue of travel permits for foreigners. 新疆の外国人旅行許可管理規定	1943年3月10日付 Kashgar despatch No.614 (F2774/67/10-43) を参照。	
F5440/47/10	Sir H. Seymour Chungking	1175	1944/10/26	1944/11/22	Indo-Sinkiang trade. インド-新疆貿易	カシュガル総領事 Gillett 氏宛 No.32.	
F5493/47/10	India Office	Ext.5317/44	1944/11/24	1944/11/24	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	11月16日付インド省書簡 Ex5175/44 (F5497/47/10) を参照。	
F5497/47/10	India Office	Ext.5175/44	1944/11/16	1944/11/24	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	9月21日付 Kashgar Weekly Letter No.951/H/5/L-44 の写し。	
F5498/47/10	India Office	Ext.5155/44	1944/11/16	1944/11/22	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	9月14日付 Kashgar Weekly Letter No.939/H/5/L-44 の写し。	
F5628/47/10	Sir H. Seymour Chungking	No.1048	1944/11/28	1944/11/30	Situation in Kuldia クルジヤの状況	インド政府宛 No.350、クルジヤの状況に関するウルムチ電 No.63 の写し。	
F5629/47/10	Sir H. Seymour Chungking	No.1047	1944/11/28	1944/12/1	Situation in Kuldia クルジヤの状況	インド政府宛、ロシア人500人によるクルジヤ攻撃に関する11月13日付ウルムチ電 No.58 の写し。	
F5675/47/10	India Office	Ext.4444/44	1944/12/1	1944/12/4	Customs arrangements in Sinkiang. 新疆の関税協定	9月7日付インド省書簡 (F4196/47/10) および8月14日付書簡の写しを参照。カシュガル税関署長代理 Chang Huang-Kuei 氏からカシュガル総領事への書簡 No.13 の写し。	
F5676/47/10	India Office	Ext.5444/44	1944/11/30	1944/12/4	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	10月5日付 Kashgar Weekly Letter No.967/H/5/L-44 の写し。	
F5714/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	1229	1944/11/10	1944/12/5	Situation in Sinkiang. 新疆の状況	カザフ人侵略者のウルムチ近郊からの撤退を報じる11月4日付通電 No.54 の写し。	
F5776/47/10	Consul Tural, Urumchi.		1944/11/2	1944/12/8	Urumchi News Letter. ウルムチ時報	重電宛特電 No.50 の写しおよび News Summary 10 月分。	
F5777/47/10	Consul Tural, Urumchi.	U/N	1944/10/6	1944/12/8	Urumchi News Letter. ウルムチ時報	重電宛特電 No.45 の写しおよび New Summary 9 月分。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F5793/47/10	Sir H. Seymour (Chungking)	1057 cypher	1944/11/30	1944/12/9	Situation in Sinkiang. 新疆の状況	重慶宛カウルムチ電 No.63 (F5628/1929/G) 参照。	
F5837/47/10	Ext.5540/44	Ext.5540/44	1944/12/6	1944/12/13	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	10月12日付 Kashgar Weekly letter No.972/H/5/L-44 の写し。	
F5891/47/10	India Office	Ext.5609	1944/12/11	1944/12/15	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	10月19日付 Kashgar Weekly letter No.981/H/5/L-44 の写し。	
F6086/47/10	India Office	Ext.5771/44	1944/12/20	1944/12/27	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	10月26日付 Kashgar Weekly Letter No.986/H/5/L-44 の写し。	
FO371-46187 FAR EASTERN/ CHINA F. China							
F62/62/10	India Office	Ext. 18/45	1944/1/2	1944/1/4	Situation in Tihwa 迪化の状況	11月28日付外務省書簡 (F5314/47/10-44) および12月31日付インド政 府電 No.17801 の写し参照。	
F68/62/10	India Office	Ext. 5907/44	1944/1/2	1944/1/4	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	1944年11月付 Kashgar Weekly Letter No.994/H/5/L の写し。	
F161/62/10	India Office	Ext. S901/44	1945/1/5	1945/1/8	Local Government Organisation of Sinkiang. 新疆の地方政府機関	8月18日付インド省書簡 (F3890/47/10-44) を参照。	
F178/62/10	Chancery, Chungking to Far Eastern Department	1356	1944/12/13	1945/1/9	Legibility of Urumchi despatches. ウルムチ特電の解読	11月15日付外務省書簡 (F4940/47/10-44) を参照。	
F223/62/10	Consul Turral, Urumchi.	U/11.	1944/12/1	1945/1/11	Urumchi News Letter. ウルムチ時報	重慶宛特電 No.53 および Forwards News Summary 11 月分の写し。	欠番。 FO371-46189 にあり
F291/62/10	India Office	Ext. 141/45	1945/1/10	1945/1/13	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1944年11月9日付 Kashgar Weekly Letter No.1014/H/5/L-44 の写し。	
F781/62/10	India Office	Ext. 498/45	1945/2/2	1945/2/6	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1944年11月16日付 Kashgar Weekly Letter.No.1019/H/5/L-44 の写し。	
F870/62/10	India Office	Ext. 503/45	1945/2/6	1945/2/9	Gilgit Agency Diary. ギルキット局日誌	Gilgit Agency Diary 1944 年 10 月分の写し。	
F1209/62/10	India Office	Ext. 777/45	1945/2/23	1945/2/27	Gilgit Agency Diary. ギルキット局日誌	Gilgit Agency Diary 1944 年 11 月分の写し。	
F1212/62/10	India Office	Ext. 835/45	1945/2/24	1945/2/27	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	12月8日付 Kashgar Weekly Letter No.1044/4/5/1-44 の写し。	
F1305/62/10	India Office	Ext. 916/45	1945/2/27	1945/3/2	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	12月14日付 Kashgar Weekly Letter No. 1050/H/5/L-44 の写し。	
F1306/62/10	India Office	Ext. 917/45	1945/2/27	1945/3/2	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	12月21日付 Kashgar Weekly Letter No. 1055/H/5/L-44 の写し。	
F1377/62/10	India Office	Ext. 918/45	1945/3/1	1945/3/6	Gilgit Agency Diary. ギルキット局日誌	Gilgit Agency Political Diary 1944 年 12 月分の写し。	
F1405/62/10	India Office	Ext. 988/45	1945/3/3	1945/3/7	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	12月23日付 Kashgar Weekly Letter No. 1066/H/5/L-45 の写し。	
F1406/62/10	India Office	Ext. 989/45	1945/3/3	1945/3/7	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1月4日付 Kashgar Weekly Letter No. 511/H/5/L-45 の写し。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F1538/62/10	India Office	Ext. 1110/45	1945/3/10	1945/3/13	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1月11日付 Kashgar Weekly Letter No. 522/4/5/L-45 の写し。	
F1539/62/10	India Office	Ext. 715/45	1946/3/6	1945/3/13	Report by Mr. Menon on his tour of South West Sinkiang. Menon 氏の西南新疆旅行報告	西南新疆旅行に関する Menon 氏(駐重慶インド自治領代表)の12月19日付 Olaf Caroe 卿(インド政府)宛書簡 No. 125 F の写し。	
F1611/62/10	Sir H. Seymour, Chungking	260 Cypher.	1945/3/15	1945/3/15	Situation in Sinkiang 新疆の状況	外務部大臣への情報請求と、英国駐迪化領事館が中国政府の要請により開成済で、危険状況進展の通知権限が与与されていることの指摘。	
F1654/62/10/G	Chungking	No. 259	1945/3/15	1945/3/17	Situation in Sinkiang 新疆の状況	英国駐カラムチ領事からの3月8日付返電 No. 8.。外務省電 No. 7 への返信。状況悪化を伝える。	
F1725/62/10	India Office	Ext. 825/45	1945/3/7	1945/3/21	Nationality of descendants of British subjects in Sinkiang. 在新疆英国臣民末裔の国籍	インド政府書簡 Ext. 2074/44 (F734/47/10-1944) を参照。	
F1804/62/10	India Office	Ext. 1338/45	1945/3/21	1945/3/23	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1945年1月18日付 Kashgar Weekly Letter No. 541/4/5/L-45 の写し。	
F1811/62/10	India Office	Ext. 823/45	1945/3/20	1945/3/23	Russian Policy towards Sinkiang. ロシアの対新疆政策	O. Caroe 卿(インド政府)の Peel 氏(インド省)宛書簡の転送。Menon 氏(駐重慶インド代表)の Richardson 氏(インド政府)宛書簡の写し回封。ロシアの対新疆政策はインドを意識したもの指摘。	
F1900/62/10	Sir H. Seymour (Chungking)	297/9/10/45	1945/3/15	1945/3/27	Situation in Tiwha. 迪化の状況	迪化発重慶宛電報の写し。迪化の全体状況の概括。	
F1927/62/10	British Consulate Chengtu.	35	1945/3/6	1945/3/28	Situation in Sinkiang and Szechuan. 新疆と四川の状況	四川と新疆の2月期の出来事および状況についての報告。重慶への送付希望。	
F2127/62/10	India Office	Ext. 1469/45	1945/4/5	1945/4/7	Situation in Sinkiang 新疆の状況	ベンジャワララジオが伝える新疆の状況に関するギルギット局からの電報の写し。	
F2198/62/10	India Office	Ext. 1589/45	1945/4/6	1945/4/10	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	2月1日付 Kashgar Weekly Letter No. 562/14/5/L-45 の写し。	
F2244/62/10	Sir H. Seymour, Chungking.	334(117c/45)	1945/3/24	1945/4/12	Special Delegate of the Ministry of Foreign Affairs in Sinkiang. 外交部駐新疆特派員	呉澤湘の外交部駐新疆特派員解任と駐チリ特命全權公使任命の3月19日付国民政府令の転送。	
F2335/62/10	British Consulate- General, Kashgar.		1945/1/8	1945/4/17	Situation in Sinkiang 新疆の状況	英国駐カシュガル総領事からの書簡(531/4/7/4H)および彼の1944年ウラム守備隊に関する報告	
F2350/62/10	India Office	Ext. 1734/45	1945/4/14	1945/4/18	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1945年2月8日付 Kashgar Weekly Letter No. 576/H/5/6-45 の写し。	
F2467/62/10	India Office	Ext. 1838/45	1945/4/19	1945/4/24	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1945年2月22日付 Kashgar Weekly Letter No. 612/H/5/L-45 の写し。	
F2474/62/10	Sir H. Seymour, Chungking.	357(127c/45)	1945/4/3	1945/4/24	Special Delegate of the Ministry of Foreign Affairs in Sinkiang. 外交部駐新疆特派員	1943年9月21日付重慶電 No. 918 (F5193/7c/10-43) および1945年3月24日付同 No. 334 (F2244/62/10) を参照。	
F2504/62/10	India Office	Ext. 1820/45	1945/4/21	1945/4/25	Nationality of descendants of British subjects in Sinkiang. 在新疆英国臣民末裔の国籍	1月25日付半公式書簡 No F380-CA/44 (F1725/62/10) を参照。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
FO371-46188 FAR EASTERN/ CHINA F: China							
F2510/62/10	British Consulate, Chengtu.	50	1945/4/4	1945/4/25	Situation in Sinkiang and Szechua. 新疆と四川の状況	成都特電 No.35(F1927/62/10) および 3 月期四川・新疆動態報告の転送を参照。	
F2623/62/10	India Office	Ext. 1942/45	1945/4/27	1945/5/1	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1945 年 2 月 15 日付 Kashgar Weekly Letter No. 593/H/5/L-45 の写し。	
F2707/62/10	India Office	Ext. 1940/45	1945/5/2	1945/5/4	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	1945 年 3 月 1 日付 Kashgar Weekly Letter No. 634/H/5/L-45 の写し。	
F2887/62/10	India Office	Ext. 1739/45	1945/5/11	1945/5/15	Fall of Sheng Shih-tai. 盛世才の退陣	4 月 2 日付インド政府半公的書簡 No.F330-CA/45 の写し。盛世才退陣後の総体的効果を概説。	
F2897/62/10	Mr. G.V. Kitson (Chungking) to Mr. A.L. Scott	460 (3/47)(3/45)	1945/4/26	1945/5/15	Roads of Sinkiang Province. 新疆省の道路	1944 年 12 月 1 日付 Scott 氏書簡 (F4668/47/10) を参照。	
F2949/62/10	Article from Far Eastern Survey			1945/5/17	Report on Sinkiang. 新疆についての報告	Eleanor Latimore の Far Eastern Survey 誌所収新疆報告文獻の転送。	
F2966/62/10	British Consulate Urumchi.		1945/1/1	1945/5/17	Urumchi News Summary. ウルムチ総合情報	ウルムチ電 53(F223/62/10) を参照。News Summary 1944 年 12 月分の写し。	
F2967/62/10	British Consulate Urumchi.		1945/1/11	1945/5/17	General Report on Roads in Sinkiang. 新疆の道路についての総合報告	新疆の道路交通に関する部門報告の転送。	
F2967/62/10	British Consulate Urumchi.		1945/2/5	1945/5/17	Urumchi News Summary. ウルムチ総合情報	1945 年 1 月分 News Summary の写し。	
F3057/62/10	Ministry of Information, communicated.			1945/5/23	Situation in Sinkiang. 新疆の状況	新疆の現状にロシア人が密接に関わっている趣旨を伝える "New York Times" の記事。	
F3060/62/10							欠番
F3126/62/10	Mr. Kitson, (Chungking)	501 (4/475/3/45)	1945/5/7	1945/5/25	Kashgar, Urumchi Road. カシュガル-ウルムチ公路	1944 年 12 月 1 日付外務省書簡 (F4668/47/10) を参照。	
F3378/62/10	India Office communicated.		1945/6/1	1945/6/6	Kashgar weekly letter No.676 of 29th March. カシュガル週間通信 676 号 3 月 29 日	我が方交易商が 1942 年 10 月に土産会社に引き渡した旧在庫のため の輸出貨物およびその他のインド新疆間交易の様子についての報告。	
F3413/62/10	Sir H. Seymour Chungking.	560 (24/10/45)	1945/5/19	1945/6/8	Situation in Sinkiang. 新疆の状況	盛世才督弁退任以降の新疆の進展と呉忠信主席下での「新体制」発足 についてのウルムチ報告の写し。	
F3432/62/10	British Consulate, Chengtu.	55	1945/5/9	1945/6/8	Conditions in Szechuan and Sikang. 四川と西康の状況	成都特電 No.50 (F2510/62/10) を参照。	
F3435/62/10	India Office	Ext 1867/45	1945/6/4	1945/6/8	Nationality of descendants of British subjects in Sinkiang. 在新疆英国臣民末裔の国籍	4 月 19 日付外務省書簡 (F1725/62/10) を参照。	
F3530/62/10	India Office	Ext. 2652/45	1945/6/7	1945/6/13	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	4 月 5 日付 Kashgar Weekly Letter No.687/18/5/L-45 の写し。	
F3532/62/10	India Office	Ext 2616/45	1945/6/8	1945/6/13	Russian Policy towards Sinkiang. ロシアの対新疆政策	インド省通信 Ext1739/45(F2887/62/10) を参照。	
F3547/62/10	India Office	Ext. 2642/45	1945/6/9	1945/6/14	Kashgar Letter. カシュガル書簡	1944 年 8 月 24 日付 Kashgar Weekly Letter(F5048/47/10-44) を参照。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F3605/62/10	Sir H. Seymour, Chungking	613 (6/8D/45)	1945/5/31	1945/6/16	India Agent-Generals visit to Urumchi. インド自治領代表のカムチ訪問	Menon 氏のカムチ訪問を伝える重慶宛 1944 年 12 月 12 日付ウルムチ特電 No.55 の写し。	
F3915/62/10	India Office	Ext. 2652/45	1945/6/7	1945/7/3	Kashgar Letter. カシュガル書簡	1945 年 4 月 12 日付 Kashgar Weekly Letter No.704/H/5/L-45 の写し。	
FO371-46189 FAR EASTERN/ CHINA F. China							
F223/62/10	Consul Turrall, Urumchi.	U/11.	1944/12/1	1945/1/11	Urumchi News Letter. ウルムチ時報	重慶発特電 No.53 と Forwards News Summary 11 月分の転送。	本来は F371-46187
F9391/324/10	G. H. Seymour	615	1946/5/30	1946/6/25	Soviet connexion in the later stages of the Ili revolt. イリ叛乱直近段階におけるソ連の関与	5 月 22 日付重慶電 78 号参照。	本来は F371-53664
F9767/324/10	I. O. Commn	Ext 4415	1946/6/29	1946/7/2	Kashgar Letters. カシュガル書簡	1945 年 8 月 17 日付書簡 932/H/5/L-45 と 1945 年 8 月 23 日付書簡 939/H/5/L-45 の転送。	本来は F371-53664
F3958/62/10							欠番
F4128/62/10	Sir H. Seymour, Chungking	714	1945/6/28	1945/7/10	East Iran road to China. イラン東部から中国への道路	宋子文外相書簡の写し。東イラン道路の使用保証が実質的に変更され、英国政府がインド方面軍司令官の利用調整責務を緩和し、当局の関与が通知される旨決定したことを表明。	
F4136/62/10	Consul Turrall (Urumchi)	14	1945/6/4	1945/7/10	Urumchi News Summary - MAY. ウルムチ総合情報 5 月分	総合情報 5 月分の転送。	
F4145/62/10	India Office (communicated)	EXT 3232	1945/7/7	1945/7/10	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	カシュガル総領事発ニューデリー-イインド政府外事局書記官宛 5 月 17 日付カシュガル週間通信 No.785/1/5/L-45 のコピー転送。	
F4184/62/10	Foreign Office Minute.		1945/7/6	1945/7/12	Sinkiang 新疆	新疆の地理的・歴史概略。	
F4381/62/10	India Office	Ext. 3407	1945/7/17	1945/7/20	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	7 月 7 日付インド省書簡 Ext.3239/45 (F4145/62/10) 参照。	
F4423/62/10	India Office	Ext 3447/45	1945/7/19	1945/7/21	Gilgit Agency Political Diary. ギルギット政治局日誌	1945 年 5 月分政治日誌を収録した 6 月 21 日付ギルギット局メモ No 1-L/45 の転送。	
F4426/62/10	India Office	Ext. 3450	1945/7/19	1945/7/21	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	カシュガル総領事発 5 月 31 日付カシュガル週間通信 No. 812/H/5/L-45 の写し。	
F4476/62/10	Sir H. Seymour (Chungking)	739 (4/47L/45)	1945/7/9	1945/7/23	Closure of the East Iran Road. 東部イラン道路の閉鎖	重慶特電 No.714 (F4128/62/10) 参照。	
F4515/62/10	Glasgow Herald (extract)		1945/7/19	1945/7/24	Future of Sinkiang. 新疆の将来	宋氏とロシア政府の協議議題。	
F4591/62/10	India Office	Ext. 3621	1945/7/25	1945/7/28	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	6 月 7 日付英国駐カシュガル総領事発カシュガル通信 No. 825/H/5/L-45 の写し。	
F4681/62/10	Foreign Office Minute by Mr. Hudson Ford.		1945/8/1	1945/8/1	Outline history of Sinkiang. 新疆史略	新疆史略の写し。	
F4682/62/10	India Office	Ext. 3618/45	1945/7/28	1945/8/1	Situation in Sinkiang 新疆の状況	カシュガル総領事より寄せられた新疆に関する最新情報の転送。	
F4818/62/10	Miss Rolfe (India Office) to Mr. Kilson.	Ext 3603/45	1945/8/5	1945/8/7	Situation in Sinkiang 新疆の状況	7 月 20 日付外務省書簡 (F4184/62/10) 参照。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F4934/62/10	British Consulate, Chengtu.	59(CI/74)	1945/7/10	1945/8/10	Situation in Szechuan and Sikang during June 1945. 1945年6月の四川と西康の状況	成都から重慶の H. Seymour 氏宛 7月10日付書簡 No.59(CI/74) の写し。	
F5001/62/10	Foreign Office Minute.		1945/8/7	1945/8/11	Sin-kiang. 新疆	中国最西北の省である新疆の政治的・商業的・文化的見地についての報告。	
F5199/62/10	India Office	Ext. 3887	1945/8/13	1945/8/17	Kashgar letter - 15th June. カシュガル書簡 7月15日	6月15日付カシュガル書簡 No. 837/H/5/L-45 の写し。	
F5526/62/10	India Office	Ext. 4001		1945/8/22	Kashgar letter - 27th July. カシュガル書簡 7月27日	6月27日付カシュガル書簡 No.843/H/5/L-45 の写し。	
F5613/62/10	Consul rural, (Urunchi)	15	1945/7/7	1945/8/24	Urunchi News Summary - June. ウルムチ総合情報 6月分	総合情報 6月分の写し。	
F5795/62/10	India Office (communicated)		1945/8/23	1945/8/27	Kashgar weekly Letter. カシュガル週間通信	英国駐カシュガル総領事 6月28日付書簡 No.855/H/5/L-45 の写し。	
F5877/62/10	India Office (communicated)		1945/8/24	1945/8/28	Kashgar Weekly Letter. カシュガル週間通信	英国駐カシュガル総領事 7月5日付書簡 No.865/H/5/L-45 の写し。	
F5880/62/10	India Office (communicated)	Ext.	1945/8/24	1945/8/28	Gilgit Agency Political Diary. ギルギット政治局日誌	ギルギット政治局日誌 1945年6月分の写し。	
F6219/62/10	India Office	Ext. 4244	1945/8/29	1945/9/3	Kashgar Weekly Letter カシュガル週間通信	英国駐カシュガル総領事 1945年7月12日付書簡 No.877/H/5/L-45 の写し。	
F6432/62/10	India Office	Ext. 4444/45	1945/9/5	1945/9/7	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	現在のカシュガル騒乱の詳細に関するインド政府書簡 No.7722 の写し。	
FO371-46190 FAREASTERN/CHINA F:China							
F6511/62/10	Sir H. Seymour (Chungking)	922	1945/8/24	1945/9/8	Mr. Tingle's journey into Sikang province. ティンゲル氏の新疆省訪問	Tingle 氏による自身の新疆省旅行報告の転送。	
F6744/62/10	India Office	Ext. 4512	1945/9/10	1945/9/12	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	9月6日付インド政府電報 No.7845 の写し。	
F6827/62/10	India Office (communicated)		1945/9/1	1945/9/13	Haji Ghulam Mohammed's visit to Kashgar. ハジ・グラム・ムハンマドのカシュガル訪問	ニューデリー外務部宛インド省 Cleary 氏宛 8月24日付半公式書簡 No.F380-CA/44 の写し。	
F6828/62/10	India Office (communicated)		1945/9/11	1945/9/13	British Consul Kashgar's proposed visit to Urunchi. ハジ・グラム・ムハンマドのカシュガル訪問	ウルムチ宛カシュガル電 No.58 の写し。	
F6830/62/10	India Office (communicated)		1945/9/11	1945/9/13	His Majesty's Consul-General Kashgar's weekly letter. 英国駐カシュガル領事の週間通信	M.C. Gillett 氏の 7月26日付書簡 893/H/5/L-45 の写し。	
F6892/62/10	India Office	Ext. 4483/45	1945/9/11	1945/9/14	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	カシュガル宛 6月28日付インド政府宛電報 No. 859/H/13T の写し。	
F6932/62/10	India Office	Ext. 4535/45	1945/9/12	1945/9/15	Gilgit Agency Political Diary. ギルギット政治局日誌	Gilgit Agency political diary 1945年7月分の写し。	
F6933/62/10	India Office (communicated)	1417/45	1945/9/15	1945/9/15	Appointment of Consul Agent at Yarkand. ヤルカンド領事兼報員との面会	ヤルカンド領事兼報員との面会に関するニューデリー・カシュガル間往復電の写し。	
F7274/62/10	India Office. Communicated.	Ext 4690/45	1945/9/19	1945/9/22	Report on Sarikol disturbances. サリコル騒乱の報告	最近のサリコル騒乱を伝えるインド政府宛 9月17日付重慶宛電報 No.8115 の写し。	
F7415/62/10	India Office, Communicated.	Ex 14715/45	1945/9/21	1945/9/25	Report of Sarikol disturbance. サリコル騒乱の報告	サリコル騒乱を伝えるインド政府宛重慶宛電報 No.8176 の写し。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F7434/62/10	Air Ministry (Communicated)		1945/9/25	1945/9/25	Situation in Urumchi. ウルムチの状況	A11 に対する重慶大使館防空軍武官電報 No.A345 の写し。	
F7509/62/10	Sir H. Seymour, Chungking	1165	1945/9/25	1945/9/27	Situation in Sinkiang 新疆の状況	インド政府宛電報 No.409 の写し。	
F7536/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 4241/45	1945/9/20	1945/9/28	Kashgar Letter. カシュガル書簡	1945 年 (実際は 1944 年) 11 月 22 日付カシュガル書簡 No.1061/K/11K の写し。	
F7560/62/10	Sir H. Seymour, Chungking	1170	1945/9/26	1945/9/28	Internal Organization of the Wai-Chiao-Pu. 外交部の内部組織	クルジャ叛徒の騒ぎをもたらしした不満の詳細について。	
F7643/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 4862/45	1945/9/28	1945/10/1	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	インド政府 9 月 26 日付電報 No.8374 の写し。	
F7733/62/10	British Consulate Urumchi.	9	1945/3/4	1945/10/3	Urumchi News Summary - February. ウルムチ総合情報 2 月分	News Summary 1945 年 2 月分の写し。	
F7734/62/10	British Consulate Urumchi.	11	1945/4/7	1945/10/3	Urumchi News Summary - March. ウルムチ総合情報 3 月分	News Summary 1945 年 3 月分の写し。	
F7735/62/10	British Consulate Urumchi.	12	1945/5/6	1945/10/3	Urumchi News Summary for April 1945. ウルムチ総合情報 1945 年 4 月分	ウルムチ宛 1945 年 5 月 6 日付け報告の転送。	
F8098/62/10	India Office (communicated)	Ext. 4815/45	1945/10/6	1945/10/10	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	自治領省宛インド政府書簡 No.F335 CA/45 の写し転送	
F8142/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 5052/45	1945/10/8	1945/10/11	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	インド政府宛重慶宛電 No.8641 の写し。	
F8143/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 5054/45	1945/10/8	1945/10/11	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	インド政府宛重慶宛電 No.8658 の写し。	
F8222/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 5097/45	1945/10/8	1945/10/12	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	カシュガルにおける叛徒騒動に関するインド政府宛 10 月 8 日付重慶宛電 No.8686 の写し。	
F8283/62/10	Consul Turral. (Urumchi)		1945/8/7	1945/10/13	Urumchi News Summary for July 1945. ウルムチ総合情報 1945 年 7 月分	駐重慶英国大使からの特電 No.19 の写し。	
F8287/62/10	Urumchi		1945/9/2	1945/10/13	Urumchi News Summary for August 1945. ウルムチ総合情報 1945 年 8 月分	駐重慶英国大使宛 9 月 2 日付特電 No.20 の転送。	
F8297/62/10	India Office (communicated)	Ext. 5079/45	1945/10/10	1945/10/13	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	8 月 2 日付駐カシュガル英国総領事のインド政府宛各週書簡 No.907/11/5/1/45 の転送。	
F8412/62/10	Mr. Roberts (Moscow) to Mr. Sternedale Bennett.		1945/10/9	1945/10/16	Developments in Sinkiang. 新疆の発展	フランス大使館代理大使その他の情報から得られた新疆の最近の動静に関する風聞の詳細。	
F8605/62/10	India Office (communicated)	Ext. 5246/45	1945/10/29	1945/10/29	Glight Diary Political Agency for August 1945 ギルキョット政治局日誌 1945 年 8 月分	EX15246/45, Glight Agency Political Diary 1945 年 8 月分の写し。	
F8604/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 5281/45	1945/10/13	1945/10/29	Situation in Kashgar カシュガルの状況	10 月 2 日付インド政府宛 8543 号 (F7643/62/10) に対するカシュガルの状況関連のウルムチ電 147-148 号の文章を付した 10 月 13 日付インド政府宛 8808 号の写し。	
F8635/62/10	Sir H. Seymour (Chungking)	1307	1945/10/18	1945/10/20	Situation in Urumchi. ウルムチの状況	重慶電 No.1170(F7560/68/10) 参照。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F8845/62/10	India Office, Communicated.	EXT 5408/45	1945/10/19	1945/10/24	Situation in Kashmir. カシュガルの状況	10月13日付電報 8808号に対して、カシュガルの状況は現在やや沈滞化したとする10月19日付インド政府電 8929号の文書を付したEXT 5408/45の写し。	
F9069/62/10	India Office, Communicated.	EXT. 5493/45	1945/10/22	1945/10/29	Arrival of Turkis and Qazqu rebel delegates at Covass, トルコ人・カザフ人叛徒代表の10月12日コバース到着	10月18日付インド政府電 8929および10月18日付ギルキット・カシュガル電No.155と10月18日付ウルムチ電No.156の電報文2件を参照。	
F9151/62/10	India Office, Communicated.	EXT 5508/45	1945/10/12	1945/10/30	Flight of Consul General Kashmir to Urumchi. 駐カシュガル総領事のウルムチへの飛行	10月1日付ニューデリー-外相電 Grade B No. 8795の写し送付。カシュガル総領事のウルムチ行き飛行に関する10月5日付カシュガル電 145号を参照。	
F9203/62/10	Sir H. Seymour, Chungking.	1088	1945/10/18	1945/10/31	Meeting of rebel delegates at Urumchi. ウルムチでの叛徒代表との会議	外務省宛重慶電 1307に関する10月18日付重慶特電 No.1088 F8635/62/10の添送。	
F9409/62/10	India Office, Communicated.	EXT 5623/45	1945/10/30	1945/11/3	Sinkiang Revolt. 新疆叛乱	10月22日付電 8993号について Gebet 氏からの10月26日付書簡を伝えるインド政府の重慶宛電 9192号の写し送付。	
F9573/62/10	F.O. Minute: Mr. Kitson		1945/11/3	1945/11/6	Chinese Penetration into Tibet 中国のチベット侵攻	重慶の Wallinger 氏宛書簡草稿。	
F9523/62/10	Sir H. Seymour, Chungking.	1117	1945/11/2	1945/11/13	Organisation of Sinkiang Inspection Party. 新疆視察団の結成	総領代理張治中將軍による新疆視察団結成についての中央通訊社英語版からの報告転送。	
F10245/62/10	India Office, Communicated.	EXT 5934/45	1945/11/15	1945/11/19	Gilgit Agency Political Diary for the Month of September 1945. ギルキット政治局日誌 1945年9月分	Gilgit Agency Political Diary 1945年9月分の写し送付。	
F10328/62/10	Embassy (Chungking)	1128	1945/11/5	1945/11/21	Interests of British Indian subjects in Sinkiang. 新疆における英領インド臣民の利益	重慶の中国外相宛書簡 No.328(105/10/45)の写し。	
F10378/62/10	Consul Turrat. (Urumchi)		1945/10/3	1945/11/21	Urumchi News Summary for September, 1945. ウルムチ総合情報 1945年9月分	the Urumchi News Summary 1945年9月分収録の10月3日付重慶特電 No.22の写し。	
F11937/62/10	India Office, Communicated.	Ext. 6556/45	1945/12/13	1945/12/19	Repulse of Bandits in Kashmir. カシュガルにおける叛徒撃退	ギルキット発ニューデリー宛書簡 EXT.6556/45の送付。	
F12059/62/10	I.O. comm'd	Ext. 6735/45		1945/12/21	Land Communications between India and Kashmir. インド・カシュガル間の地上交通	12月14日付電報 No.10272の写し。	
F12293/62/10	India Office (communicated)	EXT 6682/45	1945/12/4	1945/12/27	Return of Chinese refugees at Misgar to Sinkiang. ミスガルの中国人難民の新疆への帰還	11月13日付インド政府宛カシュガル電 162号に対するインド総督のカシュガル宛て電報の写し送付。	
F12295/62/10	India Office, Communicated.	EXT. 6735/45	1945/12/19	1945/12/28	Christmas Greetings from Mrs. M.C. Gillett and Captain and Mrs. Binns Kashmir. カシュガルのジレットとおよびキャプテン・ウイリスと夫人からのクリスマス挨拶	12月19日付インド省通信Ext.6735/45 電報文の添送。	
F12496/62/10	India Office (communicated)	EXT 6858/45	1945/12/8	1945/12/31	Question of publication of information regarding interruption of communications between India and Kashmir. インド・カシュガル間の通信途絶に関する情報刊行の問題	1945年11月19日付インド層特電 9731に対する12月8日付EXT 6858/45の送付。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
FO371-53664	FAR EASTERN/ CHINA F: China						
F324/324/10	India Office Communicated	EXT 5126/45	1945/9/11	1946/1/7	Situation in Kashgar: six telegrams from Mr. Gillet カシュガル州の状況：ジレット氏の6通の電報	カシュガルの叛徒達の活動により生じた状況に関するカシュガルの Gillet氏からの電報6通の送付。	
F393/324/10	India Office Communicated	EXT 6944/45	1945/11/28	1946/1/8	Kashgar rumour of assassination of Russian leaders. カシュガルにおけるロシア人指導者暗殺の風聞	カシュガル Gillet氏の1945年11月28日付ウルムチ宛電報 No.95の送 付。	
F394/324/10	India Office Communicated		1945/12/4	1946/1/8	Soviet Consul's against assassination rumour. ソ連領事の暗殺風聞	電報70号に対するカシュガル発ニューデリー宛電報173号の送付。	
F1263/324/10	HM Consul Urumschi		1945/12/4	1946/1/23	Urumschi News Summary ウルムチ総合状況	ウルムチ英領事 (Turrel) からの1945年11月4日付 news summaryの 転送。	
F1443/324/10	India Office comm'd	EXT 378/46	1945/12/27	1946/1/26	Kashgar: situation カシュガル：状況	カシュガル発ニューデリー-外事宛電報 No.82の送付	
F1645/324/10	I.O. comm'd	EXT 498/46	1946/1/7	1946/1/30	Visa for Haji Gula Mohammed to Sinkiang. ハジ・グラ・ムハンマドの新疆へのビザ	インド常駐インド政府半公式電 No F380-CA/45を伝える EXT 494/46の 転送。	
F1647/324/10	I.O. comm'd	EXT 608/46	1946/1/25	1946/1/30	Gilgit Political Diary for Nov. 1945 ギルギット政治日誌1945年11月分	EXT600/46, Gilgit Political Diary 1945年11月分の転送。 Diary 1945年10 月分を参照。	
F1688/324/10	HM Consul Urumschi		1946/1/12	1946/1/31	Urumschi News Summary for Dec. 1945 ウルムチ総合情報1945年12月分	1945年12月4日付ウルムチ特電 No.24 および1945年12月分 News Summaryを参照。 F1263/324/10を参照。	
F1739/324/10	Chancery Chungking	No.51	1946/1/15	1946/2/1	Agreement with rebels in Sinkiang. 新疆叛徒との合意	カシュガル宛電報 No.2 (2/22/46)。	
F2012/324/10	IO comm'd	Ext.603/46	1946/2/1	1946/2/7	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	カシュガル Gillet氏の1月10日付電報 No.3の写し送付。	
F2385/324/10	IO comm'd	Ext 807/46	1946/2/8	1946/2/14	Agreement between Chinese Government and rebels in Sinkiang. 中国政府と新疆叛徒との間の合意	1月12日付カシュガル Gillet 氏の外務省・ニューデリー宛電報 No.6 の写し。	
F2562/324/10							欠番
F3050/324/10	I.O. comm'd	EXT1292/46	1946/1/16	1946/2/27	Gilgit Political Diary for Dec. 1946 ギルギット政治日誌1946年10月分	EXT1292/46, Gilgit Agency Political Diary 1946年12月分の送付。	
F3788/324/10	H.M. Ambassador Chungking	No 207	1946/2/19	1946/3/13	Communicate's in Sinkiang 新疆における交通	新疆の道路交通についての1946年1月13日付通化特電 No.3の送付。	
F3827/324/10	I.O. comm'd	EXT 1436/46	1946/2/9	1946/3/14	Anti-Russia lecture in Kashgar カシュガルにおける反ロシア講話	Gillet氏の2月9日付ニューデリー-外事宛電報25号 (ウルムチ電 No.13への返信)の送付。	
F4003/324/10	Sir H. Seymour, Chungking	No.407	1946/3/16	1946/3/18	Possibility of Soviet aid to rebels on Sinkiang. 新疆の叛乱に対するソ連の支援の可能性	重慶宛モスクワ電43号とソ連の対新疆叛乱支援の可能性に関するウル ムチからの通信転送文を参照。	
F4261/324/10	Extract: The Times		1946/3/16	1946/3/21	Prospect of Agreement with China over Sinkiang. 新疆についての中国との合意見通し	3月6日付 Times 紙記事抜粋。	
F4641/324/10	H.M. Consul Turrel Urumschi	Despatch no23	1946/3/25	1946/3/26	Urumschi News Summary for October 1945 ウルムチ総合情報1945年10月分	1945年11月1日付駐重慶英国大使宛 Urumschi News Summary No.23の 転送。	
F5295/324/10	Mr. D.M. Cleary India Office to Mr. G.V. Kitson	Ext.12120/46	1946/4/4	1946/4/8	Revolt in Sinkiang. 新疆における叛乱	2月10日付重慶宛ウルムチ特電 No.20を参照。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F5439/324/10	Chungking.	350	1946/3/19	1946/4/9	Ilit Revolt: agreement with Rebels. イリ叛乱：叛徒との合意	Lamb 氏の Graham 氏宛通信書簡についての重慶特電 No.14 の写し。	
F5491/324/10	I.O. comm'd	EXT 2267	1946/4/6	1946/4/10	Interruption of Mail Service. 郵便の途絶	3月13日付カシュガル発外務省・ニューデリー宛 Ethington-Smith 氏電報 No.49 の写し。	
F5682/324/10	India Office Comm'd.		1946/4/12	1946/4/12	Bandit Operations in Yarkand Area. ヤルカンド地域における叛徒の活動	1946年3月11日付カシュガル電 No.47 の写し。1946年2月8日付カシュガル電 No.25 を参照。	
F5728/324/10	India Office Comm'd.	EXT 2164/46	1946/4/11	1946/4/15	Distructions in Yarkand, compensation for looting etc. ヤルカンドにおける騒動：略奪等に対する保障	カシュガル-Gillett 氏のニューデリー-外相宛電報 No.43 の写し送付。	
F5828/324/10	Sir H. Seymour, Chungking U/N comm'd		1946/4/10	1946/4/16	The Ilit Revolt: Informations by H.M. Consal Urumchi イリ叛乱：英国駐ウルムチ領事による情報	重慶宛ウルムチ特電 No.10 の写し送付。	
F5870/324/10	India Office.	EXT 2639/46	1946/4/13	1946/4/17	Danger to communications in Sinkiang due to activities of bandits. 叛徒の活動による新疆の通信の危機	4月5日付インド政府書簡 No.23 向封物の写し。インド宛3月23日付カシュガル電 No.62 および25日付同電 No.63(ウルムチ電 No.26, 27 への返信)。	
F6175/324/10	Mr. Cleary India Office to Mr. Brevis	2671/46	1946/4/18	1946/4/25	Arrival of Urumchi monthly reports ウルムチ月報の到着	4月10日にインド省へ転送した1945年10月分ウルムチ報告 (F4641/324/10) を参照。	
F6466/324/10	His Majesty's Consal Urumchi	2	1946/4/4	1946/4/30	Urumchi report for March 1946 ウルムチ報告 1946年3月分	3月3日付重慶宛特電 No.20 および添付の3月期省内動勢報告に関する重慶宛ウルムチ特電 No.29 の写し。	
F655-4/324/10	Sir H. Seymour, Chungking	493	1946/4/18	1946/5/2	Arrival of General Chang Chih-Chung 張治中將軍の到着	張治中將軍の到着および彼の対談を報じた重慶宛通信領事特電 No.31 の写し。	
F6885/324/10	India Office Communicated	EXT 3158/46	1946/5/4	1946/5/9	Situation in Kashgar. カシュガルの状況	カシュガル Binns 氏のニューデリー-外相宛電報 71-74 号の写し送付。 カシュガルの状況についてのウルムチ電 34-38 号への返信。	
F6957/324/10	Mr. J.S. Somers Cocksan Tehran Embassy.	5117/46	1946/4/26	1946/5/10	Consular reports and diaries from Kashgar and Urumchi: Tehran request for them. カシュガルとウルムチの領事報告と日誌：テヘランからの請求	インド政府書簡の写し同封	
F7809/324/10	Sir H. Seymour, Chungking	No.78	1946/5/22	1946/5/25	Revolt in Sinkiang 新疆における叛乱	4月16日付外務省電 663(F5295/324/10) を参照。	
F8691/324/10	I.O. comm'd	EXT 3838/46	1946/6/5	1946/6/14	Settlement of Ilit revolt prospects. イリ叛乱の解決見通し	重慶宛電報 No.93 の写し送付。	
F9027/324/10	I.O. Comm'd		1946/6/18	1946/6/19	Tehran request for Consalr reports of Chinese from Kashgar to Urumchi. カシュガルからウルムチまでの中国人についての領事報告についてのアヘランからの請求	インド省発インド政府書簡 EXT3971/46 の写し送付。	
F9251/324/10	Sir M. Peterson Moscow	2147	1946/6/21	1946/6/24	U.S. policy in Sinkiang & the question of Russian influence above アメリカの新疆における政策およびそれに対するロシアの影響の問題	外務省宛電報 2087(F8818/818/97) を参照。	
F9391/324/10	G. H. Seymour	615	1946/5/30	1946/6/25	Soviet connexion in the later stages of the Ilit revolt. イリ叛乱直近段階におけるソ連の関与	5月22日付重慶電 78 を参照。	欠番、F371-461 89 (にあり)

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F9454/324/10	I.O. Comm'd	EXT 3840/46	1946/6/24	1946/6/26	Russian conservice in the Ili Revolt. イリ叛乱でのロシアの保護	カシュガル宛 5月21日付インド政府宛電報 No.94 の写し送付。	
F9621/324/10	India Office (communicated)		1946/6/29	1946/6/29	Soviet intervention in Ili Revolt イリ叛乱でのソ連の調停	6月12日付インド政府 Weighlim 氏の Cleary 氏宛半公式書簡 no.F432/CA/46 の写し。	
F9767/324/10	I. O. Comm'n	Ext 4415	1946/6/29	1946/7/2	Kashgar Letters. カシュガル書簡	1945年8月17日付書簡 932/H/5/L-45 と 8月23日付書簡 939/H/5/L-45 の写し。	欠番、 F371-46189 にあり
F10317/324/10	Consulate Urumchi	2 ?	1946/5/4	1946/7/16	Urumchi report for April 1946 ウルムチ報告 1946年4月分	南京宛電報 35号。	
FO371-53665 FAR EASTERN/ CHINA F: China							
F10533/324/10	Sir H. Seymour Nanking	605	1946/5/27	1946/7/19	Consular Agent at Yarkand. ヤルカンド領事館	ニューデリー宛特電 No.53 の写し。カシュガル宛 9号、迪化宛 24号として転電。	
F10769/324/10	I.O. comm'd	Ext 4740	1946/7/20	1946/7/25	Lands wrongfully confiscated from British subjects in Sinkiang. 新疆に在る英国臣民からの悪質な土地押収	カシュガルからの 1946年4月19日付書簡 4号 (tour) の写し。重慶およびウルムチに転送。	
F10869/324/10	I.O. comm'd	Ext 4905/46	1946/7/22	1946/9/25	Kashgar letter カシュガル書簡	1945年10月6日付 Kashgar letter: 965/H/5/L-45 の写し。	
F11074/324/10	I.O. comm'd	EXT 5089	1946/7/29	1946/7/31	Ili Rebellion. イリ叛乱	ウルムチ電 144号の写し。南京宛は 67号。カシュガル電 66号への返信。 ウルムチ電 62号を参照。	
F11075/324/10	Mr. M.C. Gillett, Kashgar	960/H/6/S-Vol. II	1945/10/3	1946/7/31	Report on Events in Sinkiang. 新疆事件報告	1945年1月16日付特電 No.538 を参照。	
F11076/324/10	India Office Comm'd			1946/7/31	Situation in Urumchi. ウルムチの状況	ニューデリー宛 1946年5月28日付カシュガル電 No.105 の写し。ウルムチ子発南京宛通信 No.42 取録。	
F11139/324/10	I.O.(comm'd)		1946/7/30	1946/7/31	Surrender of rebels in Southern Kashgar カシュガル南部における叛徒の投降	カシュガル宛 6月22日付ニューデリー宛電報 No.120 の写し。	
F11359/324/10	Mr. Wallinger, Nanking	770	1946/7/8	1946/8/6	Transmission of URUMCHI to TEHRAN. ウルムチからテヘランへの伝達	ウルムチ宛 46年7月8日付南京電 No.15 の写し。テヘランへの伝達用に今後ウルムチからの至報告の写しを要求。	
F11409/324/10	Mr. Wallinger, Nanking	807	1946/7/17	1946/8/7	Political Situation in Sinkiang. 新疆の政治状況	迪化特電 37号 (インド政府宛、カシュガル宛 15号として転送) の写し。	
F11487/324/10	Mr. Wallinger, Nanking	801	1946/7/15	1946/8/9	Agreement between Central Govt & Ili dissidents in Sinkiang. 新疆における中央政府とイリ反体制派間の合意	南京特電 350号 (F5439/324/10) を参照。46年6月6日に張治中將軍とイリ反体制派との間で最終的合意書が締結されたことを報告。	
F11685/324/10	Mr. Hamble Naakin to Mr. Kitson	810	1946/7/18	1946/8/13	Political Situation in Sinkiang. 新疆の政治状況	南京特電 810号 (元は KC に分類) の写し。南京特電 807号 (F11409/324/10) および 809号 (KC422/110/210) を参照。	
F12018/324/10	Sir R. Stevenson Nanking	833	1946/7/22	1946/8/19	Situation in Urumchi (Tihwa). ウルムチ (迪化) の状況	南京宛迪化電 82号の写し。カシュガル 76号として転送。	
F12019/324/10	Sir R. Stevenson Nanking	868	1946/8/19	1946/8/19	The Ili Road. イリ道路	南京宛迪化電 91号 (カシュガルへ転送) および南京宛迪化電 81号 (カシュガル、インド政府 77号、モスクワ 26号、テヘランへ転送) の写し。 南京特電 802号 (F11074/324/10) を参照。	
F12326/324/10	I.O. Comm'd	EXT 4903	1946/8/23	1946/8/24	Situation in South Sinkiang. 新疆南部の状況	4月20日付カシュガル書簡 No.5 (Tour) の写し。	

受理番号	発信者・機関 (および宛先)	番号	発信年月日	受理年月日	表題およびその邦訳	参照・添付	補足
F12816/324/10	Mr. M.C. GILLET to Mr. Kitson		1946/9/1	1946/9/3	Observations on situation in SINKIANG by Mr. GILLET former Consul General at KASHGAR. 前カシユガル総領事ギレット氏の新疆状況観察	以下の表題による彼の知見：(1) 英国代表、(2) 英国の関心(インド人 コミュニティ、交易、辺境問題、フンザの地位) および幾つかの提言	
F13019/324/10	I.O. comm'd Mr. Kitson		1946/8/29	1946/9/7	Future of the Kashgar Consulate - General. 今後のカシユガル総領事	今後のカシユガルの地位に関する南京宛電文草稿。	
F13020/324/G10	Mr. Stevenson, Nanking	474	1946/9/5	1946/9/7	Future of the Kashgar Consulate General 今後のカシユガル総領事	インド省宛電 No.672 (F13019/324/G) を参照。突発的事態に備え回ポストの維持を主張。	
F13091/324/10	Sir R. Stevenson Nanking	28 Saving	1946/8/16	1946/9/10	TIHWA News Summaries 迪化新聞総覧	46年7月31日付大使館 P/L 特電 868 号 (F12019/324/10) を参照。英国駐迪化領事からの様々な電報を総覧。	
F13191/324/10	Sir R. Stevenson Nanking	992	1946/8/26	1946/9/10	Political Situation in SINKIANG 新疆の政治状況	現地の政治的状況を危むむウルムチ特電 42, 43, 44, 49, 50 号の写し。	
F13192/324/10	MR. MACKENZIE NANKING TO CHINA DEPT.	993	1946/8/22	1946/9/10	TIHWA DESPATCHES 迪化特電	8月22日付南京特電 No.992 (F13191/324/10) 参照。	
F13263/324/10	India Office-Com- municated	EXT 6004/46	1946/9/7	1946/9/11	Situation at LLI イリの状況	カシユガルの ETHERINGTON SMITH 氏からの 46年8月16日付ニューエアリー外事処宛電報 No.188 の写し。カシユガル電 94 号に対する南京宛ウルムチ電 No.100 の再録。	
F13264/324/10	CONSUL GRAHAM URUMCHI	U/N	1946/6/4	1946/9/11	News Summary for June 1946 ニュース一覽 46年5月分	46年5月4日付ウルムチ特電 No.35(F10317/324/10) 参照。	
F13265/324/10	CONSUL GRAHAM URUMCHI	U/N	1946/7/5	1946/9/11	News Summary for June 1946 ニュース一覽 46年6月分	1946年6月4日付ウルムチ特電 No. 41(F13264/324/10) を参照。	
F13518/324/10	INDIA OFFICE COMMUNICAT- ED	EXT 6186/46	1946/9/14	1946/9/16	Situation at KASHGAR カシユガルの状況	インド宛 46年8月24日付カシユガル電 No.201 の写し。8月7日付カシユガル電 No.180 を参照。	
F14139/324/10	India office Comm'd	EXT 6440	1946/9/25	1946/9/27	Situation SARIKOL and TASHKURGHAN. サリコロとタシクルクガンの状況	インド政府宛 46年9月1日付カシユガル電 No.210 の写し。同電 201号 (F13518/324/10) を参照。	
F14431/324/10	Mr. G. Wallinger, Nanking	809 (82/224/46)	1946/7/18	1946/10/3	Claim by ZARIF KHAN against the Chinese Govt. 中国政府に対するザリフ・ハンの抗議	1946年5月10日付南京宛迪化特電 No.36 の写し。	
F14456/324/10	Mr. VP Ferris, India Office to Mr. Scott.	EXT 6589/46	1946/10/2	1946/10/3	Claim against the Chinese Govt. by ZARIF KHAN. ザリフ・ハンの中国政府に対する抗議	1934年に中国で収監されたインド人 Zarif Khan に関する調査参照。	
F14604/324/10	SIR R STEVEN- SON NANKING	29 SAVING	1946/9/12	1946/10/7	TIHWA News Summaries 迪化新聞総覧	Stevenson 氏の電報 No.28 Saving (F13091/324/10) および英国駐迪化領事からの一連の電報報告のまとめ参照。	
F14642/324/10	Sir R. Stevenson Nanking	1111	1946/9/12	1946/10/8	Situation in Sinkiang 新疆の状況	迪化宛 35 号。転送: テヘラン UN , モスクワ 36 号、Spec Com SEA 69 号。	

(5) ハドソンの状況分析

最後にハドソン (H.F. Hudson) による情勢分析のコメントについて言及しておきたい。ハドソン氏は戦後オックスフォード大セント・アントニー校の極東研究所所長を務め 1946 年から 54 年にかけて週刊誌「エコノミスト」の臨時編集員を担当しているが、以前はオックスフォード大オール・ソウルズ校の研究員で、戦時中は英国外務省の調査局 (Research Department) に勤務していた。新疆問題に関してハドソンは便覧『新疆』の作成に加わっており、TNA の外務省文書では初稿提出の際に名を連ねている。また Minute 欄に寄せるコメントは概してかなりの分量があり、学術的立場からの見解を示している。例えば 1944 年に新疆とモンゴルの国境地帯で起こった武力紛争について、TNA の外務省文書では中ソ関係の問題として新疆問題のファイルとは別にファイル 435 (FO371/41637) を立てているが、戦況を報じた迪化 (ウルムチ) からの 44 年 3 月 20 日付特電を収録した文書 F1718/435/10 において、ハドソンは 4 月 15 日の日付で詳細なコメントを寄せ、また外務省極東部長アシュレー・クラークに宛てたコメントも付している。これらのコメントの中でハドソンは紛争の起こったアルタイ地域は清代において外蒙古に属していたものが辛亥革命後の 1912 年に新疆に編入されたものであり、中国政府がウルムチやイリと同様に漢人の入植によって内地化を進めようとしていたことがモンゴル軍侵入の背景にあることを指摘し、アルタイ地区の新旧境界線とモンゴル・カザフ両民族の分布状況を示した彩色地図を付している。特に旧境界線の南端がバイタク・ボグド (北塔山) であることを示し、1947 年にこの北塔山周辺で再度起こった中蒙間の国境紛争を予見させるものとなっている。他方で 1944 年の文書 F1811/62/10 では、ロシアの対新疆政策はインドを意識したものであると指摘するインド政府のカロエ卿の 1 月 29 日付書簡に 4 月 24 日付でコメントを寄せ、もしソ連が中国の新疆統治を転覆させた場合、新疆は天山南部のトルコ人国家、カザフスタンに併合される西北部、モンゴルに併合される北東部に分割されるとの予想を立てている。第二次大戦もヨーロッパ戦線が終息に向かいつつある中でソ連が再びアジアへの関与を強める中、英国外務省内部でこうした意見が交わされていたことは興味深い。こうした点にも外務省文書の Minute 欄に注目する意義があるといえる。

おわりに

以上、英国立公文書館所蔵の公文書について、新疆に関係する外務省文書を中心にその概要を述べた。その情報量は膨大であり、中国側の資料では見えてこない当時の新疆の状況をたどることができるだけでなく、英国側の状況認識や分析をうかがい知ることができる。むろん大戦末期から始まる東西冷戦の中で英国のアジアにおける重要性は低下してゆくだけでなく、それ以前の段階においても英国の新疆における政治的影響力はソ連に比べて高いとは言えない。また外務省における情報収集と分析が英国の対新疆政策にどのように反映されたのかという点については、首相チャーチルや英国議会の資料も読み解く必要があるだろう。とは言えフォーブスが著書を執筆し

た頃と比べて文書検索閲覧の便宜が大幅に向上した今日にあって、TNA 所蔵の文書の利用価値は決して小さくはない。中国辺疆問題に関してはチベット関連文書も新疆と同等かあるいはそれ以上の分量の文書があり、またモンゴル関係は中ソ関係や満洲国、日本の対華北・内蒙関係など複数の分野に分かれて文書が存在する。また雲南の多民族地域については英領ビルマ関連のファイルから様々な有用な文書資料を得ることができる。こうした文書を詳細に読み解くことで中国辺疆研究に新たな知見をもたらすことが期待される。

本文は日本学術振興会平成 21-25 年度科学研究費補助金基盤研究(B)海外学術調査の研究成果の一つである。

注

- (1) 「アーカイブ情報あれこれ：National Archives (旧 PRO、英国国立文書館)：第 2 回」<http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/content.php?pid=419486&sid=3429257>
- (2) <http://www.bl.uk/aboutus/quickinfo/intvisitors/index.html>

参考文献

- Forbes, Andrew D.W.
1986 "Warlords and Muslims in Chinese Central Asia: a political history of Republican Sinkiang 1911-1949" Cambridge University Press
- Benson, Linda K.
1990 "The Ili Rebellion: The moslem challenge to Chinese authority in Xinjiang 1944-1949" M.E. Sharpe
- 佐藤元英(編)
1997『日本・中国関係イギリス外務省文書目録』第 1～3 巻 クレス出版
- 許建英
2008『民国時期英国與中国新疆(1912-1949)』新疆人民出版社

